



## 人権啓発によせて

東の間の秋が過ぎ、あっという間に木枯らしの時節になりました。皆さまにおかれましては、如何お過ごしでしょうか。さて、当会主宰の『わはは祭り』が、10月13日（日）開催されました。当日は、約1,300人の皆様にご来場いただきありがとうございました。台風の影響による事故もなく、盛会のうちにお祭りを終えることができ、主催者一同安堵しているところです。

ところで、先日、私の住む町の自治会で人権啓発の学習会がありました。夜間の学習会ではありましたが、たくさんの方々が参集されました。当日、「ヒューマンライツ」というDVDが上映され、セクハラ、パワハラ、マイノリティの問題だけでなく、障がい者に対する差別の問題もこの映画のテーマの一つになっていました。

一方、きょうされんの主宰で8月に「夜明け前」という映画が上映されましたが、これは、旧憲法下で精神病を有する方々がいかに不当な扱いを受けたかを知る手がかりになりました。来年早々には、きょうされん40周年記念映画「星に語りて」が福岡市内で上映される予定です。福島第一原発の事故という過酷な状況下、障がいがあるが故に、困難な状況に置かれ、命を脅かされる事態に陥った人たちがいたことが明らかになりました。

差別は、社会の中に根深く存在し、これを解消するには、私たちに不断の努力が求められます。まず事実を知ること、学ぶこと、それが私たちの責務です。また、「どんなに重い障がいがあっても、地域でふつうの暮らしができること」これが、当法人の願いです。

来年早々には、仲間たちの成人式、恒例の実践研究発表会が予定されています。来年に向け、私たち役員、職員一同、頑張ってお参りますので、ご支援、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。これから寒さが本格化します。どうぞ皆様方風邪など引かれぬ様、ご自愛のほどお願い申し上げます。

社会福祉法人葦の家福祉会  
理事長 福山 良弘



## 親亡き後のふつうの生活をめざして

住宅街にある葦の家のグループホームには、強度行動障がい、重度重複、高齢の障がいのある人たち10名が生活しています。昼間は通所施設に通い地域生活を送っています。「障がいが重くても、自分らしく地域で生活したい。」という願いを実現しようと、現場の職員は、利用者とともに日々努力を続けています。支援区分5, 6など障がいの重い人には、食事、排せつ、服薬、更衣、入浴など日常生活の維持に必要な介助が、朝、夕、施設休所日にも必要です。しかし、国の報酬費では、マンツーマン、休日、通院や外出などは基本的に想定されていません。その時間帯支援している職員の人件費の多くが法人の持ち出しになり、人材確保の困難さと併せ運営を難しくしています。10月9日、副市長、保健福祉局長、障がい者部長に運営の厳しい実態を報告しました。

福岡市の障がい福祉の重点施策は、「障がいの重度化、高齢化に伴う親亡き後の施策」です。これは葦の家の事業方針と軌を一にしていますが、具体的な支援策は、今のところ全く講じられていません。法人では、以下の項目を福岡市に要望し、障がいの重い人でも、福岡市内で安心して暮らし続けられることを願っています。

(福岡市への要望事項)

1. 支援区分5、区分6、強度行動障がいのある方々に介助実態に応じた最低限必要職員人件費の補助を。
2. 居宅介護、移動支援等のホームヘルプサービス支給に在宅と同じ基準の適用を。
3. 年金だけでは厳しい生活実態を踏まえた家賃補助を。

(法人本部長：友廣)

## 映画上映会のお知らせ

東日本大震災時の障がいのある方々や施設で起きた実話をもとにした映画「星に語りて」を上映します。日本列島では毎年のように大規模災害が起きていますが、そのたびに避難が難しい高齢者や障がい者に多くの犠牲者が出ています。多くの方々にご覧頂き、対策を講じる機会になればと願っています。

- 日 時 2020年1月12日(日) 13:00 開演
- 場 所 福岡市城南市民センター大ホール
- 料 金 一般前売 500円(当日 600円)  
介助者・小学生 300円
- 共 催 葦の家福祉会・さざなみ福祉会



## BCP（事業継続計画）の策定について

近年、地震・台風・洪水といった自然災害が多数発生しています。障がい者福祉施設では、その災害に備えて対応マニュアルの作成や定期的訓練等が求められています。それは、自然災害発生時に命を守るための取り組みです。しかし最近では、命を守るだけでなく、福祉サービスの継続や早期復旧のための計画も求められています。それがBCP（ビジネスコンティニュエーション：事業継続計画）です。この計画は、従来の「命を守る」ための避難計画等に加え、被害を受けた施設設備等の早期復旧や最低限の福祉サービスの継続といった観点で立てられた計画のことを言います。葦の家では、この計画の策定を現在行っているところです。

（リスクマネジメント委員会 委員長：小関）

## 法人実践研究発表会の開催に向けて

法人では毎年冬に実践研究発表会を開催しています。これは各事業所の支援員の資質向上、および今後の事業推進に寄与することを目的に取り組んでおり、支援員はグループごとに自分たちの実践をまとめ、報告書として提出し、当日は数グループ



が登壇し、研究の成果を発表しています。

また、これに合わせて、地域関係者の皆様等も交えて、地域福祉やネットワークなどに関するシンポジウムを開催しています。今年度は「災害時における地域課題」について議論を交わしていきたいと考えています。

今年度の発表会は2/23（日）、葦の家食堂にて開催する予定です。

（研修委員会 委員長：藤）

## 支援現場見学体験会を行っています！

障がい者支援の仕事がしてみたい、施設でボランティア活動してみたい、といった方々に、実際の支援現場を見て・体験して・知ってもらう機会として、平成29年度より「支援現場見学体験会」を行っています。障がい児支援、成人期の日中活動、地域での住まいの場であるグループホームを見学し、児童支援や日中活動支援では、利用者と一緒に活動に参加していただいています。参加者の方からは「利用者の方たちと話をしたり、活動の様子が見れてよかったです」「授業では知ることのできなかった仕事の内容を知ることができました」などの感想をいただいています。

この企画を機に障がい福祉に関心をもつ方が少しでも増えてくれたらと思います。

（広報委員会 委員長：末次）

障がい者福祉の仕事に興味がある方への  
**支援現場見学体験会**

参加費 無料

日程  
令和元年 10/26・11/16・12/21  
令和2年 1/18・2/22 両日で実施

社会福祉法人 葦の家福祉会

# わはは祭り 2019 のご報告

新元号である『令和』になって初めての「わはは祭り」となりました。6月より実行委員会をスタートさせ、今回のテーマを「令和だワッショイ！全員集合!!」としました。地域で暮らす子どもたちからお年寄りの方々まで、たくさんの方にご来場いただきたいとの想いを込めました。特に中庭では子どもたちが楽しく過ごせるよう、今人気の歌「パプリカ」を踊るイベントや、ザリガニ釣り、メダカすくい、スーパーボールすくいなどの企画、ゲームコーナー、綿菓子などの模擬店など、さまざまな企画を用意し、各関係者にもご協力いただきました。

開催直前に台風19号が発生し、直撃は免れたものの、前日は強風の影響もあり、屋外テントの幌が張れないなど、準備が思うように進められませんでした。当日の朝早くからテントの幌張りや各ブースの準備を行い、なんとか開催にこぎつけました。前日・当日ともに多くのボランティアの方々が参加され、ステージ出演者も含め2日間でのべ380名の方にお手伝いいただきました。

当日は台風一過の晴天の中、約1,300名（推定）の方々にご来場いただき、仲間たちやスタッフ、ボランティアも合わせると、当日1,600名以上の方々がこの会場に集い、盛会のうちに祭りを終えることができました。

このお祭りが単なる施設のお祭りではなく、地域の皆さんと一緒に作り上げる地域に根付いた祭りになっていくよう、今後も仲間たちと一緒に続けてまいりますので、これからもご支援の程、よろしく願いいたします。

(わはは祭り全体調整担当：佐々木)





## 葦の家（生活介護）

9月29日（日）、堤地区大運動会に、葦の家の仲間と職員、実習生、えーる油山とすまいるホームの職員が参加しました！ 雨の心配があったため、時間や競技を調整しながらの開催でしたが、パン食い競争や「宝釣り」ならぬ「宝取り」、リレー、ムカデ競争等、町内の皆さんに混ざって一緒に競技を楽しんだり、応援をして盛り上がりたりとにぎやかな一日となりました♪



11月13日（水）、仲間と職員、ボランティアさんの総勢79名でバス2台に乗り込み、佐賀県の吉野ヶ里歴史公園に行ってきました！ 到着してバスごとに記念撮影をした後は各班、自由行動で散策をして回りました。弥生時代の歴史を目で見て身体で感じながら広大な土地を歩いて回ったり、竪穴式住居に入って当時の暮らしを感じたり、物見やぐらに登って歴史公園と佐賀を一望したり、被り物を被って当時の人になりきったり…！ お昼は天気にも恵まれ、過ごしやす



い気候の中、外で歴史を感じながらお弁当を食べることができた班もありました。

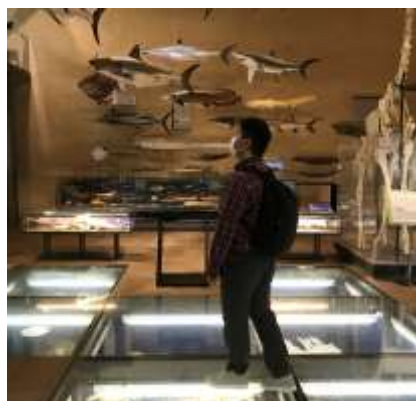
仲間たちや職員も、一緒になって外出体験を楽しむことができるよう、沢山の準備を重ね迎えた当日でした。帰りに皆が「楽しかったね」「良かったよね」と言い合っている姿や表情は、みんなの『ふつうの暮らし』の一部であったように感じました。

（支援員：恵藤）



## えーる油山（多機能型：就労継続 B 型+生活介護）

10月27日（日）に博多の森陸上競技場にて障がい者スポーツ大会が行われました。えーる油山からは、50M走に5名、フライングディスクに6名の総勢11名が参加しました。どちらの競技も、日頃の練習の成果を思い出し、参加した全員が全力を出していました。50M走では後ろを向きながら余裕の表情で走った仲間が、なんと金メダルを獲得することができました！フライングディスクでは的の輪を狙う競技と距離を競う競技があり、風の流に四苦八苦しなながらも仲間・職員が一丸となって声を掛け合い応援していました。日々練習した成果を大きな舞台で出し切れたことは、仲間たちにとってとてもいい経験になったと思います！



また、11月12日（火）には北九州市にある「いのちのたび博物館」へバスハイクに行きました。館内では大きな恐竜の骨格標本が早速出迎えてくれ、仲間たちも大興奮！動く恐竜がいるエンバイラマ館では、本物さながらのジオラマに圧倒されていました。見学の後は、ミュージアムショップで家族や自分へのお土産をじっくり選び、仲間たちも職員も色々なことを感じられた一日となりました。

（支援員：大坪）

## 特別支援学校放課後等支援事業（屋形原・若久）

10月30日（水）は、恒例行事のハロウィンイベントを行いました。子どもたちは、魔法使いやおばけに大変身！！学校の職員室と葦の家・えーる油山へお菓子を貰いに行きました。いつもとは違う雰囲気初めは緊張をしていましたが、学校の先生方や事業所の職員とふれあい、お菓子を貰ううちに笑顔が増え、ハロウィンを楽しむことができました。12月には様々なクリスマスのイベントを用意しております。今年もどんぐり・たんぼぼルームにはサンタさんが来てくれるかな・・・？早くからクリスマスを心待ちにしている子どもたちです♪

今年は、小学部の新しい児童さんも増え、より一層賑やかな1年になりました。来年も子どもたちの笑顔が溢れ、日々成長できるルームでありたいと思います。

（放課後等支援副責任者：園山）



# ヘルパーステーションほっとほっと・ショートステイ

ホームヘルプのニーズは変化してきています。ほっとほっとは、行動障がいや知的障がい児者の方々に、児童期から成人期までライフステージに沿って長期間支援してきたことが強みの一つです。しかし最近、単身世帯や精神障がいのある方々のニーズが高まってきており、ご家族も高齢化しています。現場では、このようなニーズに対応できるよう2月の法人実践研究発表会に向け、精神障がい者や他事業所と連携した実践レポートの準備をしています。地域で頑張っているヘルパーの取り組みを知って頂き、大切な教育機会として取り組んでいます。

(サービス提供責任者：臼井)

8月20日(火)に行われた、こころのケア共感部会「震災時の対応について」の研修会で「星に語りて」の映画上映がありました。東日本大震災での実話に基づいた劇映画でした。

実際、震災が起こった場合は障がいのあるなしに関係なくすべての人が混乱します。その状況で自分自身なにができて、何をすべきなのか、震災が起こる前の今はなにができるのかを考える機会になりました。

(支援員：桂木)

## 相談支援 (基幹相談支援センター・相談支援センターあしっぷ)

当センターでは、現在関わっている利用者の中で、特に連絡手段がない方や単身世帯などの安否確認が必要だと思われる方々をリストアップし、緊急時の連絡先・住所や普段利用しているサービスなどが一目で分かるような情報整理を行い、停電時でも書面で確認できるように保管・管理する仕組みをとっています。今できること、私たちにできることを考え、身近なところから対策をとるように心がけています。

今後の課題は、災害時に障がいのある方の安全をどのように確保していくか、地域住民や自治会を通じて事前に話し合い、個別に避難行動計画を作成することです。地域の支援体制をつくっていくための重要な課題に、基幹相談支援センターが担えることがあるのではないかと考えています。



(主任コーディネーター：田中)

ちよこつと  
ニュース

Öl Aburayama  
Crafts & Products

法人ホームページ内にえる油山で作っているフェルトや、さをり織りの商品、アートグッズ等を紹介するページを作りました。ぜひご覧ください！

<http://www.ashi.sakura.ne.jp/e-ru/>



## グループホーム（すてっぷ・すまいるホーム）

10月22日（火）に、すまいるホームにて一足早いハロウィンパーティを開催しました。事前にハロウィンイラストや当日に仮装をするための仮面に仲間が色を塗り、リビングを飾りつけました。そしてパーティ当日は、仲間・職員が被り物や仮面をつけて仮装をして、お互いにオバケの真似をして楽しみました。オバケを身体と声で表現し、オバケになりきっている仲間もいました。メインは仲間・職員総出でのケーキ作り。みんなで作業を分担し、クッキー砕きやクリーム塗り、飾り付けなどを行い「お菓子の家ケーキ」を作りました。完成後に記念撮影をして、ケーキを仲間で食べました。自分たちで作ったケーキはより一層美味しかった様子で、全員ペロリと平らげていました。

（支援員：緒方）



## ゆるキャラグランプリ結果報告！

葦の家福祉会のイメージキャラクター「わははぁーと君」が「ゆるキャラグランプリ 2019」にエントリーしました。11/3 に結果発表があり、ご当地キャラ部門では427エントリー中、249位（479ポイント）という結果でした。来年もチャレンジするかどうか、これから検討したいと思います。応援頂いた皆様本当にありがとうございました。今後も、わはは祭りを中心にじわじわ認知度をあげていけるよう頑張っていきたいと思っています。今後も「わははぁーと君」への応援よろしくお願いします！



### 社会福祉法人 葦の家福祉会だより 令和元年 12月号

発行日 令和元年 12月 1日

編集・発行 社会福祉法人 葦の家福祉会

〒814-0153 福岡市城南区樋井川4丁目1-17

〈代表〉Tel 092-873-7481 Fax 092-834-3362

E-mail asinoie@blue.ocn.ne.jp

URL <http://www.ashi.sakura.ne.jp>